

『 13. 日本におけるドイツのM&Aと  
欧州連合への日本の投資 』

2. 1. 西・北欧諸国における日本の投資

- ・三菱自動車はワルチラ（フィンランド）を買収した（2005年）

2005年4月19日三菱重工ニュースより

三菱重工業は、2004年12月にフランスに設立した中大型エンジンの現地生産会社「MHL Equipment Alsace S. A. S（略称MEA）」が、ワルチラ フランス社（Wartsila France S.. A. S.）のミュールーズエンジン工場の主要設備を買い取り、人員も引き継ぐことで基本合意した。

現地生産会社MEAは、当社の生産技術を導入、5月を目途に、出力1250～2000kwのSR-V型ディーゼルエンジンの生産を開始する。人員は75名（うち日本人2名）。初代社長には大館守秀氏が就任する。

産業用中大型エンジンの中国市場の急拡大や北米市場の回復により、当社汎用機・特車事業本部工場（神奈川県相模原市）での生産能力がタイトになったことに加え、今後需要増が見込まれる欧州市場に対応するため、現地生産に踏

み切るもの。年間生産能力は最大 500 台。事業規模は約 30 億円。

MEA では、コンロッド、シリンダーヘッド、クランクケースの機械加工および組立・運転まで行い、完成したエンジンを当社汎用機・特車事業本部の欧州生産・販売会社である「 MHI Equipment Europe B. V. 」( 略称 : MEE、本社 : オランダ ) へ販売、欧州向けに供給する。年間生産台数は初年度 250 台、2007 年度までに 400 台規模を目標とし、最終的には、最大 500 台規模までは増産可能な体制とする。MEA の資本金は 700 万ユーロ ( 約 9 億円)。MEE が 100% 出資する。

当社は、この現地生産の開始を契機に今後需要増が見込まれる欧州市場において、エンジン事業のさらなる発展を目指す。

以上

ワルチラ (Wartsila Corp.)

[ 国籍・業種 ] フィンランド/エンジン

[ 本社 ] John Stenbergin ranta 2, FI-00531 Helsinki

Tel (10) 709 -0000 Fax (10) 709 -5700

[URL] <http://www.wartsila.com>

[役員] (会長) Antti Lagerroos (社長) Ole Johansson

[設立] 1991 年 [従業員] 12,475 人

[発行株式] 92,6 百万株 ( A 株 23,6 百万株、 B 株 69,0 百万株 )  
( 額面 3,50 ユーロ )

[最近の業績] ( 百万ユーロ・Helsinki )

決算期	売上げ高	営業利益	純利益	総資産	負債
02.12	2,519	78	122	2,685	1,726
03.12	2,358	100	▲39	2,383	1,572
04.12	2,478	132	160	2,327	1,466

\* 営業利益は E B I T

[会社概要] フィンランドの重電グループで、船舶用エンジンと分散型電源設備では世界大手。Fiskars Corporation が株式の 21%、議決権の 28%を保有する。売上構成は船舶用エンジン 29%、発電 25%、サービス 38%など。地域別では欧州 46%、アジア 32%など。船舶用エンジンの年末受注残高は前期比 34%増の 8 億 1,270 万ユーロで、中速エンジンでは世界シェア 34%を占める。特殊鋼部門は、Imatra Steel が担当、欧州の自動車・機械関連企業に特殊棒鋼などを提供する。

2005 年 12 月 12 日三菱重工ニュースの一部より

当社は、平成 17 年 1 月 28 日の取締役会決議にもとづき、12 月 12 日に優先株式の転換により三菱自動車工業株式会社の普通株式を取得し、同社を持分法連結会社としましたので、下記のとおりお知らせいたします。

以上

・伊藤忠商事はイギリスのタローオイルを買収した（2005 年）

2005 年 4 月 12 日伊藤忠商事ニュースより

伊藤忠商事（以下 伊藤忠）は、この度英国法人タローオイル社（本社 ロンドン）の子会社の買収を通じて英領北海のアルバ油田（8%）及びカレドニヤ油田（10.06%）の権益を約 120 億円で取得する契約を締結致しました。アルバ油田は英領北海 157 油田中 3 番目の原油生産量（2003 年実績）の大型油田で、カレドニヤ油田と合わせた原油生産量は現在日量約 70,000 バレル、伊藤忠は自社取り分として両油田合わせて日量約 5,600 バレルの原油を獲得したことになります。

既存のハドソン油田からの原油取り分と合わせると、伊藤忠の英領北海での原油取り分は、日量約 8,400 バレルとなります。また、アルバ油田は今後 20～25 年間にわたり、原油を生産する計画であり、現状の高油価の環境下、油価

先物ヘッジにより安定した収益を上げることが期待される優良プロジェクトです。

伊藤忠は、1993年に英国法人エンタープライズオイル社からハドソン油田（25,77%）、ハットン油田（8,63%）、北西ハットン油田（25,77%）の権益を取得し英領北海油田開発事業に参入しました。ハットン油田、北西ハットン油田は既に生産を終了しておりますがハドソン油田は、日量11,000バレルのブレント原油を生産中です。また、ハドソン鉦区内に存在するメルビル構造（保有権益35,17%）についても1996年に試掘井を掘削し油の胚胎を確認しており、同構造については本年3月に試価井を掘削、良好な結果を得ており本格的な開發生産に向けて現在調査検討中です。

伊藤忠はこれまでの10年以上にわたる英領北海の石油開発事業より得たノウハウを活かして更なる事業拡大を予定しております。

#### 【 アルバ油田概要 】

各社権益比率：	コノコフィリップ社	23,43%
	シェブロンテキサコ社(オペレーター)	21,17%
	スタットオイル社	17,00%
	BP社	15,50%
	トータル社	12,65%
	伊藤忠	8,00%
	タリスマン社	2,25%

- ・ 現在日量約68千バレル生産。
- ・ 1984年12月発見、1994年1月より生産開始。
- ・ 英領中部北海 16 / 26 鉦区（アバディーン市の北東約210km沖合、水深140m）に位置。

### 【 カレドニヤ油田概要 】

各社権益比率：	シェブロンテキサコ社(オペレーター)	27,36%
	ダナ・ペトロリアム社	25,78%
	スタットオイル社	21,32%
	トータル社	12,65%
	伊藤忠	10,06%
	タリスマン社	2,83%

- ・ 現在日量約 2 千バレル生産。
- ・ 1993 年 9 月発見、2003 年 2 月より生産開始。
- ・ 英領中部北海 16 / 26 鉱区（ アバディーン市の北東約 210km 沖合、水深 140m ） に位置。

### 【 タローオイル社概要 】

- ・ タローオイル（正式名： Tullow Oil Plc）は英国及びアイルランド上場の石油・ガス開発会社。
- ・ 昨年 5 月、アフリカを中心にガス開発を手掛けるエナジー・アフリカ社を買収し、エナジー・アフリカ社が保有していたアルバ油田権益、カレドニア油田を保有することとなった。

以上

### 【 伊藤忠商事株式会社概要 】

- ・ 創業 1858 年
- ・ 設立 1949 年 12 月 1 日
- ・ 代表者 代表取締役社長 小林栄三

- ・ 東京本社 〒107-8077  
東京都港区北青山2丁目5番1号  
TEL 03 - 3489 - 2121
  
- ・ 大阪本社 〒541-8577  
大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号  
TEL 06-6241-2121
  
- ・ 営業所数 国内17店 海外139店
- ・ 資本金 202,241百万円
- ・ 従業員数 4,222人
  
- ・ 上場証券取引所 東京、大阪、名古屋、福岡、札幌
- ・ 証券代行業務機関 中央三井信託銀行
  
- ・ ホームページ <http://www.itochu.co.jp/>

#### 参考文献

三菱自動車 三菱重工業 伊藤忠商事 ワルチラ タローオイル

各社ホームページ